

平成20年度広島市立広島特別支援学校 第2回学校協力者会議概要

1 日 時 平成20年11月14日(金) 11:00~12:00

2 場 所 校長室

3 内 容

(1) 学校長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 議事

ア 中間評価について

- フォーマルな検査は指導に生かすために実施するものであり、検査結果については慎重に扱う必要がある。
- 全員が検査に精通する必要はない。検査に精通した教員が何人かいて、他の教員は解釈がしっかりできるようになり、その分析結果を指導に生かしてほしい。
- 学校外部の機関で検査を受けているケースがある。学校と外部の機関が連携を取り、そのデータの分析を行なって指導に生かせるようになってほしい。
- コーディネーターが中心になってネットワークを作りながら専門性の高い情報を収集、分析していくことが必要。
- 進路指導については保護者への研修を含めていい実践をしている。今後、実習先でのシビアなニーズをカリキュラムに反映して教育活動を変えていく必要がある。

イ その他

- 全般的に各機関との連携が取れてきている感じがする。また、先生方のモチベーションが高くなっているということを感じた。
- 文化祭は子どもの顔が輝いており、すばらしい文化祭であった。
- 地域に販売に来てほしい。その種を見つけることがきた。

(4) 委員長あいさつ